

市立函館病院に通院・入院中または過去に通院・入院された

患者さままたはご家族の方へ

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせください。

2026 年 7 月 27 日

研究課題名	自殺予防フローで抽出された受動的な自殺願望・厭世的な発言のある患者への対応の検討
研究機関名 長の氏名	市立函館病院・病院長 森下 清文
研究責任者名 所属	市立函館病院 臨床心理科 赤松 直子
[多機関共同研究] 研究代表者	なし
[多機関共同研究] 共同研究機関名 研究責任者名	なし
研究の目的	当院では、自殺の危険性が高い患者さまを早期に把握し、適切な支援につなげるための「自殺予防フロー」を運用しています。本研究では、自殺予防フローで「気持ちの辛さ」と「生活の支障」が高いと判断された患者さまのうち、受動的な自殺願望や厭世的な発言がみられたがん患者さまに対して、実際にどのような対応が行われたかを診療録から調査し、今後の支援体制の改善につなげることを目的としています。
研究の方法	〈対象となる患者さま〉 当院に入院され、2023 年 8 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の期間に、「生活のしやすさに関する質問票」に回答され、「気持ちのつらさ」が 4 点以上および「生活への支障」が 3 点以上だった患者さま、または精神保健の専門家への相談を希望された患者さまのうち、受動的な自殺願望や厭世的な発言がみられた患者さま。 〈利用する情報〉 対象患者さまの診療録より、患者背景、該当期、対応等の情報を収集し分析します。
研究実施期間	実施許可日（情報の利用開始日： 2026 年 7 月頃）～ 2026 年 12 月
他の研究機関への 試料・情報の提供	他の機関への試料・情報の提供はない
外国への 試料・情報の提供	なし
個人情報の取扱い	この研究に関する資料やご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さまの個人情報や研究に支障となる事項以外はお知らせすることができます。 研究に利用する患者さまの情報に関して、お名前、住所など、患者さま個

	人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用いたしません。
連絡先・相談窓口	北海道函館市港町 1 丁目 10 番 1 号 市立函館病院 臨床心理科 赤松 直子 電話：0138-43-2000（代表）